平塚市教育委員会 令和7年8月定例会

日 時:令和7年8月22日(金)14時00分から

場 所:平塚市役所本館7階720会議室

1 教育長報告

- (1) 金目中学校区地域教育力ネットワーク協議会の国土交通大臣表彰受賞について
- (2) その他
- 2 教育長臨時代理の報告
- (1) 報告第3号 令和7年度平塚市一般会計(教育関係)補正予算について
- (2)報告第4号 旭地区第2次住居表示整備事業の実施に伴う関係条例の整 理に関する条例について
- (3) その他
- 3 陳情第2号 シックスクールマニュアル講習会の開催を求める陳情
- 4 その他

金目中学校区地域教育力ネットワーク協議会が 国土交通大臣表彰を受賞

金目中学校区地域教育カネットワーク協議会が、令和7年度道路愛護等に顕著な功績のあった団体等に対する国土交通大臣表彰を受賞しました。同会は、平成19年度から県道612号上粕屋南金目線(南金目交差点~JA湘南金目支店)の両側花壇に花植え、除草、水やりなどを実施しています。本市での同表彰の受賞は、平成25年度の下郷自治会以来、12年ぶりとなります。

表彰式

日時 8月22日(金)午前11時30分~

場所 神奈川県庁新庁舎12階大会議室(神奈川県横浜市中区日本大通1)

金目中学校区地域教育カネットワーク協議会の概要と特色ある事業

同会は平成9年度に金目中学校区青少年健全育成連絡協議会から改組して設立されました。地域社会の中で、金目中学校区の子どもたちが世代間交流、生活体験、社会体験、自然体験、ボランティア体験などを積み重ね、「生きる力」をはぐくむことができるよう、次世代を担う子どもたちの教育環境づくりを目指して「通学合宿」、「灯ろう流し」、「芸術文化子ども体験教室」などさまざまな活動を行っています。

道路愛護等に顕著な功績のあった団体等に対する国土交通大臣表彰

国土交通省では、8月1日から8月31日までの1か月間を「道路ふれあい月間」とし、その行事の一環として、道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等の活動を行い、功績が特に顕著な民間の団体または個人を表彰しています。この表彰は昭和33年度に創設され、令和7年度は神奈川県内で3団体、全国で91団体、9個人が選ばれました。

令和7年度平塚市一般会計(教育関係)補正予算について

平塚市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則(昭和37年教委規則第4号) 第2条第2項の規定により、次のとおり令和7年度平塚市一般会計(教育関係)補正予算 について事務を臨時に代理し、市長に申出したので、同条第3項の規定により報告する。

令和7年8月22日提出

平塚市教育委員会 教育長 吉野 雅裕

記

(単位:千円)

	款	項	既定予算額	補正要求額	計
	14 使用料及び手数料	1 使用料	70,994	0	70,994
	15 国庫支出金	2 国庫補助金	19,806	0	19,806
1	16 県支出金	2 県補助金	7,091	0	7,091
歳	17 財産収入	2 財産売払収入	5,410	0	5,410
入	18 寄附金	1 寄附金	1,505	100	1,605
	19 繰入金	1 基金繰入金	593,651	0	593,651
	21 諸収入	5 雑入	1,042,726	2,709	1,045,435
	22 市債	1 市債	1,277,100	0	1,277,100
	歳 入 合 計		3,018,283	2,809	3,021,092

(単位:千円)

	款	項	既定予算額	補正要求額	計
	10 教育費	1 教育総務費	4,758,722	21,896	4,780,618
l		2 小学校費	2,100,825	8,013	2,108,838
歳		3 中学校費	869,554	0	869,554
出		4 幼稚園費	88,311	5,953	94,264
		5 社会教育費	2,685,876	20,207	2,706,083
		6 保健体育費	270,121	0	270,121
	歳 出 合 計		10,773,409	56,069	10,829,478

歳入予算要求明細

		款 項 目	既定 予算額	補正 予算額	計
18	次寄	附金	1,505	100	1,605
	1項	寄附金	1,505	100	1,605
		5 目 教育費寄附金	1,505	100	1,605
21	欠 諸	収入	1,042,726	2,709	1,045,435
	5 項	頁 雑入	1,042,726	2,709	1,045,435
		2目 雑入	1,042,726	2,709	1,045,435

報告第3号

(単位:千円)

				(十四・111)
	節		内容	
	区分	金額	ri u	
3	小学校費寄附金	100	企業版ふるさと納税寄附金	100
9	教育費雑入	2,709	教職員等学校給食費(小学校教員等)物価高騰に伴う自己負担	1,620
			教職員等学校給食費(中学校教員等)物価高騰に伴う自己負担	1,089

歳出予算要求明細

								補正予算額の	の財源内訳	
	款	項	目 (事業)	既定額	要求額	計	特	定 財	源	一般財源
							国県支出金	地方債	その他	一放約//
10	教育	費		10,773,409	56,069	10,829,478	25,724	0	23,016	7,329
	1	教育	育総務費	4,758,722	21,896	4,780,618	19,771	0	2,709	584
		3	学校給食費	1,952,183	22,480	1,974,663	19,771	0	2,709	0
			3 学校給食管理事	業 (学校	給食課)					
				1,001,747	22,480	1,024,227	19,771	0	2,709	0
							国庫補助金			
							19,771			
		9	子ども教育相談 センター費	267,467	584	266,883	0	0	0	584
			3 介助員派遣事業	¥						
				168,669	584	168,085	0	0	0	584
	2	小当	· 	2,100,825	8,013	2,108,838	0	0	100	7,913
		1	学校管理費	2,068,434	8,013	2,076,447	0		100	7,913
			5 単独調理場運営		,	, ,		<u> </u>	<u> </u>	,
				238,570	7,913	246,483	0	0	0	7,913
		0	**·수·[[미] #	5.004		5.004			400	
			教育振興費 1 通級指導教室運	5,391	0	5,391	0	0	100	0
			1	526	100	626	0	0	100	0
				520	100	020	U	U	100	U
	4	幼科	挂園費	88,311	5,953	94,264	5,953	0	0	0
		1	幼稚園費	88,311	5,953	94,264	5,953	0	0	0
			5 幼稚園運営補助	事業 (学	務課)					
				9,640	5,953	15,593	5,953	0	0	0
							国庫補助金 5,953			
Ī	5	社会	会教育費	2,685,876	20,207	2,706,083	0	0	20,207	0
Ī		4	博物館費	92,600	20,207	112,807	0	0	20,207	0
Ī			4 博物館管理事業							
				58,576	20,207	78,783	0	0	20,207	0

(単位:千円)

			(十四:113)
	節 細節 金額	頭	内 容
物佰	両高騰に対応するための給食	【材料費を増	額補正します。
10	需用費	22,480	
	8 給食材料費	22,480	物価高騰に対応するための給食材料費
補正	Eをします。 		をするとともに、医療的ケア児の外部支援を延長するため、増額
1	報酬	2,450	
	2 会計年度任用職員報酬	2,450	医療的ケア看護師派遣委託活用のため減額
12	委託料	1,866	
	90 その他委託料	1,866	医療的ケア看護師一部業務委託の延長
老杯	5化した大型厨房機器を更新	iするため、	増額補正をします。
17	備品購入費	7,913	
	1 備品購入費(1件100万 円以上)	7,298	山下小学校調理場 ガス回転釜5台
	2 備品購入費(1件50万 円以上100万円未満)	615	勝原小学校調理場 包丁まな板殺菌庫
教育	育振興のための指定寄附金を	活用して通	級指導教室で使用する器材を購入するため、増額補正をします。
10	需用費	100	
	1 消耗品費	100	補聴器の購入
私立	Z幼稚園等の食材料費に係る	物価高騰分	を助成するため増額補正をします。
18	負担金、補助及び交付金	5,953	
	10 補助金	5,953	幼稚園食材料費高騰対策事業補助金(国庫補助金追加分)
博物	物館の建物劣化度等調査を行	rうため、増	額補正をします。
12	委託料	20,207	
	6 建設事業委託料		建物劣化度等調査業務委託

旭地区第2次住居表示整備事業の実施に伴う関係条例の整理に関する 条例について

平塚市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則(昭和37年教委規則第4号)第2条第2項の規定により、別紙のとおり、旭地区第2次住居表示整備事業の実施に伴う関係条例の整理に関する条例について、事務を臨時に代理し、市長に申出したので、同条第3項の規定により報告する。

令和7年8月22日提出

平塚市教育委員会 教育長 吉野雅裕

旭地区第2次住居表示整備事業の実施に伴う関係条例の整理に関する条例(案) (平塚市放課後児童クラブ条例の一部改正)

第1条 平塚市放課後児童クラブ条例(平成17年条例第18号)の一部を次のように改正する。

別表中「平塚市河内359番地の6」を「平塚市河内一丁目3番15号」に、「平塚市纒226番地」を「平塚市纒三丁目21番1号」に改める。

(平塚都市計画下水道事業受益者負担金及び下水道事業分担金条例の一部改正)

第2条 平塚都市計画下水道事業受益者負担金及び下水道事業分担金条例(昭和49年条例第1号)の一部を次のように改正する。

別表第5期事業の項中「徳延」を「徳延一丁目、徳延二丁目、徳延三丁目」に、「及び日向岡二丁目」を「、日向岡二丁目、纒一丁目、纒三丁目及び河内一丁目」に、「纒」を「纒二丁目、纒四丁目」に、「河内」を「河内二丁目」に改め、同表第6期事業の項中「纒、河内」を「纒四丁目、河内二丁目」に改める。

(平塚市立の学校の設置に関する条例の一部改正)

第3条 平塚市立の学校の設置に関する条例(昭和39年条例第13号)の一部を次のように改正する。

別表第1中「平塚市河内307番地」を「平塚市河内一丁目4番1号」に、「平塚市纒226番地」を「平塚市纒三丁目21番1号」に改める。

(平塚市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部改正)

第4条 平塚市立公民館の設置及び管理等に関する条例(昭和41年条例第4号)の一部 を次のように改正する。

第2条第1項の表中「平塚市河内440番地」を「平塚市河内一丁目32番14号」に改める。

(平塚市体育施設及び学校運動場夜間照明施設の設置及び管理等に関する条例の一部改正)

第5条 平塚市体育施設及び学校運動場夜間照明施設の設置及び管理等に関する条例(昭和40年条例第13号)の一部を次のように改正する。

第2条第2項の表中「平塚市河内307番地」を「平塚市河内一丁目4番1号」に改める。

附則

この条例は、令和7年10月14日から施行する。

旭地区第2次住居表示整備事業の実施に伴う関係条例の整理に関する条例に伴う新旧対照表

F1条関係(平塚市放課後児童クラブ条例の一部改正)							
現	Ţ		改正	案	改正要旨		
-	位置 平塚市河内359番地の6	另	川表(第2条関係) 名称 省略 旭小学校区放課後児童クラブ	平塚市河内一丁目3番15号	徳延地区、纒地 区及び河内地区の 全部並びに公所地 区、根坂間地区及 び万田地区の一部		
松延小学校区放課後児童クラブ	十一冰川歷220 街地		松延小学校区放課後児童クラブ省略	·	における住居表示の実施に伴い、規定を整備する。		

現 行				改正案		改正要旨			
別表(第4条関係)			別	J表 (第4条	関係)				
区分	実施区域	基本負担金	増負担金		区分	実施区域	基本負担金	増負担金	
	省略					省略			
第 5 期	唐ケ原、南原四丁目、御殿	受益地1平			第 5 期	唐ケ原、南原四丁目、御殿	受益地1平		
事業	四丁目、豊田平等寺、豊田	方メートル			事業	四丁目、豊田平等寺、豊田	方メートル		
	宮下、ふじみ野一丁目、ふ	当たり 33				宮下、ふじみ野一丁目、ふ	当たり 33		
	じみ野二丁目、めぐみが丘	9円				じみ野二丁目、めぐみが丘	9円		
	一丁目、めぐみが丘二丁					一丁目、めぐみが丘二丁			
	目、北金目一丁目、北金目					目、北金目一丁目、北金目			
	四丁目、真田二丁目、真田					四丁目、真田二丁目、真田			
	四丁目、山下一丁目、山下					四丁目、山下一丁目、山下			
	二丁目、山下三丁目、万田					二丁目、山下三丁目、万田			
	一丁目、万田二丁目、 <u>德延</u> 、					一丁目、万田二丁目、 <u>徳延</u>			
	高村、日向岡一丁目及び日					一丁目、徳延二丁目、徳延			
	向岡二丁目の全部並びに					三丁目、高村、日向岡一丁			
	中原下宿、南豊田、豊田小					目、目向岡二丁目、纒一丁			
	嶺、豊田本郷、北豊田、岡					目、纒三丁目及び河内一丁			
	崎、長持、寺田縄、入野、					<u>目</u> の全部並びに中原下宿、			
	飯島、広川、片岡、南金目、					南豊田、豊田小嶺、豊田本			
	北金目二丁目、北金目三丁					郷、北豊田、岡崎、長持、			
	目、真田一丁目、真田三丁					寺田縄、入野、飯島、広川、			
	目、纒、公所、根坂間、出					片岡、南金目、北金目二丁			
	縄、万田三丁目、高根一丁					目、北金目三丁目、真田一		\	
	目、高根二丁目及び <u>河内</u> の					丁目、真田三丁目、纒二丁			

	現 行		改正案	改正要旨
第6期事業	一部 高根三丁目、四村三丁目、田村三丁目、田村三丁目、田村三丁目、大田村三丁目、横二丁目、横二丁目、横二丁目、西耳上、西丁四点、大田一世,一里,一里,一里,一里,一里,一里,一里,一里,一里,一里,一里,一里,一里,	方メートル 当たり 36	目、纒四丁目、公所、根坂間、出縄、万田三丁目、高根二丁目及び河内二丁目の一部 第6期 高根三丁目の全部並びに事業 受益地1平方メートル田村二丁目、田村三丁目、田村三丁目、西村四丁目、横内、東真土四丁目、西真土二丁目、西真土三丁目、西真土三丁目、西真土三丁目、高根一丁目、高根二丁目、高橋一丁目、高根二丁目、岡崎、出縄、豊田本郷、豊田打間木、東豊田、下島、小鍋島、大島、豊田小嶺、北豊田、南豊田、城所、長持、纒四丁目、河内二丁目、公所、広川、片岡、北金目、北金目二丁目、北金目二丁目、南金目、千須谷及び真田一丁目の一部	

水因外(1%中立。)1	文學以自己因为公本的學 即以正/			
	現 行		改 正 案	改正要旨
表第1(小学校)		別表第1(小学校)		
名称	位置	名称	位置	
	省略		省略	
平塚市立旭小学校	平塚市河内307番地	平塚市立旭小学校	平塚市河内一丁目4番1号	
	省略		省略	
平塚市立松延小学校	平塚市纒226番地	平塚市立松延小学校	平塚市纒三丁目21番1号	
	省略		省略	

第5条関係(平塚市体育施設及び学校運動場夜間照明施設の設置及び管理等に関する条例の一部改正) 改正部分 現 行 改正案 改正要旨 (設置) (設置) 第2条 省略 第2条 省略 2 体育施設等の名称及び位置は、次のとおりとする。 2 体育施設等の名称及び位置は、次のとおりとする。 名称 位置 名称 位置 省略 省略 旭小学校運動場夜間照明施設 平塚市河内307番地 旭小学校運動場夜間照明施設 平塚市河内一丁目4番1号 省略 省略

平塚市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について

平塚市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について、別紙のとおり定めるものとする。

令和7年9月16日提出

平塚市教育委員会 教育長 吉野雅裕

平塚市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令 (案)

平塚市教育委員会事務決裁規程(平成27年教育委員会訓令第1号)の一部を次のように改正する。

別表第2中

Γ

教育会館		○教育会館の管
		理運営

を

Γ

教育会館		○教育会館の管
		理運営
文化公園会館		○文化公園会館
		の管理及び運
		営(勤労者関係
		団体及び青少
		年関係団体に
		係る運営に関
		する事務を除
		<.)

に改める。

附則

この訓令は、令和7年10月1日から施行する。

平塚市教育委員会事務決裁規程の一部改正に伴う新旧対照表

改正部分 現 行 改正案 改正要旨 別表第2(第4条関係) 別表第2(第4条関係) 文化公園会館の 管理及び運営に関 決裁区分 決裁区分 する事務につい 教育長 主管部長 主管課 教育長 主管部長 主管課長 主管課 主管課長 て、一部を除き教 決裁事項 決裁事項 育委員会に委任さ 省略 省略 れ、利用の申込み 教育研 省略 教育研 省略 等を開始すること 教育会館 究所 教育会館 ○教育会館の管理運 究所 ○教育会館の管理運 に伴い、別表を整 営 備する。 ○文化公園会館の管 文化公園会館 理及び運営(勤労 者関係団体及び青 少年関係団体に係 る運営に関する事 務を除く。) 省略 省略

陳 情 文 書 表

平塚市教育委員会令和7年8月定例会

受理番号	受理年月日	開催日		
陳情第2号	令和7年6月19日	令和7年8月22日		
件名	シックスクールマニュアル講習	習会の開催を求める陳情		
陳 情 者	 化学物質から健康を守る平塚の	D)会		
	TET WYOU STEME TO THE			
陳情要旨				
別紙陳情書のとおり				



陳 情 書

令和7年6月19日

平塚市教育長 吉野雅裕殿

陳情者 住 所:

電話番号:

団体名は化学物質から健康を守る平塚の会

氏 名《岸 紗綾(代表) 石川純子

江口 ともこ 玉腰 了三

簑島 茜 箕田 常人

箕田 景子 井上 駛

シックスクールマニュアル講習会の開催を求める陳情

〈陳情事項〉

養護教諭を初めとする教職員を対象とした、シックスールマニュアルについて学ぶ講習会の開催を 求める

〈陳情の趣旨及び理由〉

平塚市には、化学物質過敏症等に悩む児童生徒等に対し適切な配慮を行うため「シックスールマニュアル」が存在する。しかしながら「シックスクールマニュアル」自体の認知度が低く、また化学物質過敏症が特異な疾患であるためにマニュアルの内容を理解することが難しい。そのため当事者(児童生徒及び保護者)と学校との話し合いがスムーズに行われず、適切な配慮につながらない事案がある。

アレルギーのように理解が進めば、適切な配慮につながる可能性が高まると考えるため、実例の 紹介や当事者からの説明も含め、養護教諭を初めとする教職員に向けた「シックスクールマニュア ル」及び、化学物質過敏症と当該疾患患者への対応について学ぶ諸習会の開催を求める。

また講習会は、まずは今年度中に一度開催し、その後は定期的に開催されることを求める。

1